

患者ID:@PATIENTID

2009.8.6作成

@PATIENTNAME 様

膀胱化療GEM+CDDP(4week)

2024.8.2改訂

指示者	@USERNAME
コース数	

身長	HEIGHT01_D	cm
体重	HEIGHT01_I	kg
体表面積	#VALUE!	m ²

(DuBoisの式)

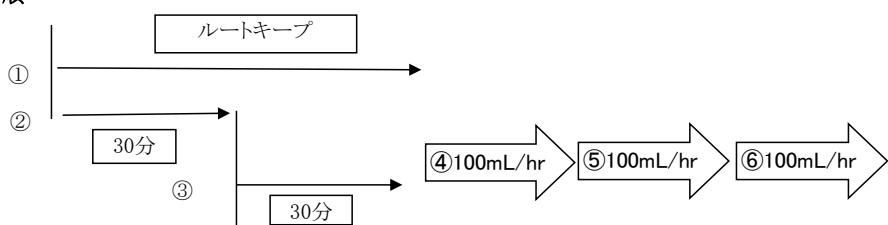
[実施印]

day1 day2 day8 day15

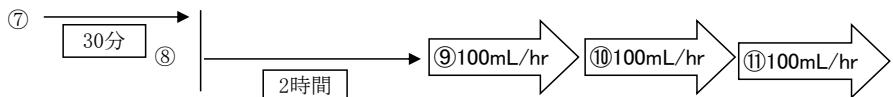
	薬物/実際の投与量	投与時間	投与経路				
①	5%糖液250mL	ルートキープ°	点滴				
②	グラニセトロン3mg 1バッグ デカドロン3.3mg 1A	30分	点滴				
③	生理食塩水100mL ゲムシタビン1000mg/m ² ()mg/body 最小単位10mg #VALUE! 計算値	30分	点滴				
④	VeenD500mL	100mL/hr	点滴				
⑤	ソルデム500mL	100mL/hr	点滴				
⑥	VeenD500mL	100mL/hr	点滴				
⑦	パロノセトロン1V+生理食塩水 100mL デカドロン3.3mg3A	30分	点滴				
⑧	生理食塩水250mL ランダ 70mg/m ² ()mg/body 最小単位5mg #VALUE! 計算値	2時間	点滴				
⑨	ソルデム500mL	100mL/hr	点滴				
⑩	VeenD500mL	100mL/hr	点滴				
⑪	ソルデム500mL	100mL/hr	点滴				

投与手順

day1

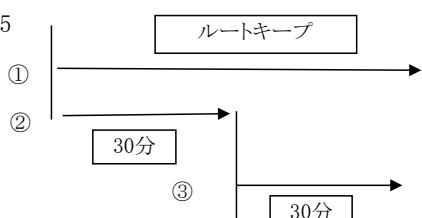


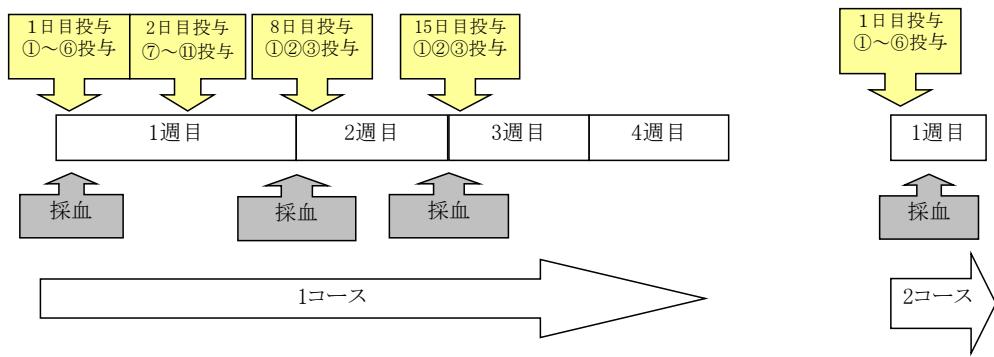
day2



day8

day1,15





注意

間質性肺炎(1.5%)に注意、ゲムシタビンには皮疹が10%程度あり。
day8においてはWBC2000/ μ L以下、血小板7万/ μ L以下が休薬基準となる。
吐き気が強いときは、イメント追加を考慮。またはプリンペラン注投与。

治療成績

MST13.8ヶ月 (M-VAC14.8ヶ月:有意差なし)
奏功率 49.4% (M-VACは45.7%:有意差なし)
癌化学療法ハンドブック2009p320より